

うちのヘルパーにインタビューしてみました!

きらっとの職員紹介

先輩からのアドバイス「話術も技術」が心情!

利用者様の現状の生活から、より良い生活へ導いていく…。ヘルパーって夢ある活動



氏名: 徳田 加津美 (とくだ かづみ)

●プロフィール紹介
 長年調理の仕事をしていましたが、ホームヘルパーの資格を取ってきらっとに入り、介護福祉士の資格を取得し、次に調理師の免許もとりました。調理の現場では、私の代わりがいます。「あんた、来てくれたんか。」と声掛けをしてくれるこの仕事。気がつけば10年が経過。
実母、義母の介護も私がこの仕事をしていることから、親族から任せっきりになりましたが、苦痛ではありませんでした。「わたしがするわ」と気楽に声が掛けられるのも、この経験と性格? だったかも知れません。
 単独行動のこの仕事に不安もありましたが、利用者様に不安を持たれなくなかったので、経験3ヶ月の時に「あんた何年目や!」との声掛けに「3年目ですよ!」と言ってしまったこともありました。(笑)

私が担当した利用者様 1 ★

Sさん(83歳)のケース 風呂嫌いから週2回の入浴実施

きらっとに入ってまもなく、施設を強制退所されたSさんの担当させていただきました。「私はわがままやから!」と公言するSさんは大のお風呂嫌い。髪の毛はカチカチに固まり、体の匂いもきついものがありました。

会話を通じて良好な人間関係が構築でき、お風呂に入ることになりました。今では週2回の入浴を楽しみにされています。初めての入浴介助の際は、石鹸の泡が立たなかったことが思い出されます。強制的でない入浴の誘導に心地よい達成感を味わいました。今まで入浴嫌いな方の担当に当たる事が多いと思いますが、楽しく活動しています。(笑)



楽しく仕事の話をしてくれました

私が担当した利用者様 2 ★

Yさんのケース 不安から「おはよう!」の表情へ!

Yさんはお亡くなりになりましたが、今でも忘れられない利用者様です。脳血管障害により寝たきり状態になられ、失語症のためコミュニケーションは、まばたきや顔の表情から探り取るものでした。奥様が献身的に介護をされており、ヘルパーが要らないと思うほどでしたが、奥様はヘルパーが入る事で安心感を持たれていることに気づきました。デイサービスの送り出しの対応をさせていただいていた時に、最初は不安そうな表情をされていたYさんでしたが、回数を重ねるごとに不安は消え、「おはよう!」と顔の表情であいさつされ、時々左手で小さく「バイバイ!」してくれたしぐさが、今でも忘れられません。

現在、365日対応可能! サービス提供時間は、8時~18時まで

お問合せはこちらまで:
お問合せ時間: 9:00~18:00

➡ **0774-54-7232**

〒610-0121 京都府城陽市寺田袋尻17番地の12 岩佐ビル内 (鴻ノ集會館西側)

TEL 0774-54-7232 FAX 0774-54-7236



きらっと生きがい倶楽部

鴻ノ巣運動公園のプランターの
花植えを始めました。

6月12日(水)
花づくり講習会



6月12日
(水)
土づくり

きらっとの活動をもっと知りたい方は

〒610-0121

城陽市寺田袋尻17-12 岩佐ビル

TEL:0774-54-7234

ホームページもご覧ください！

きらっと城陽

検索



スマホの方はQRコード
で！